

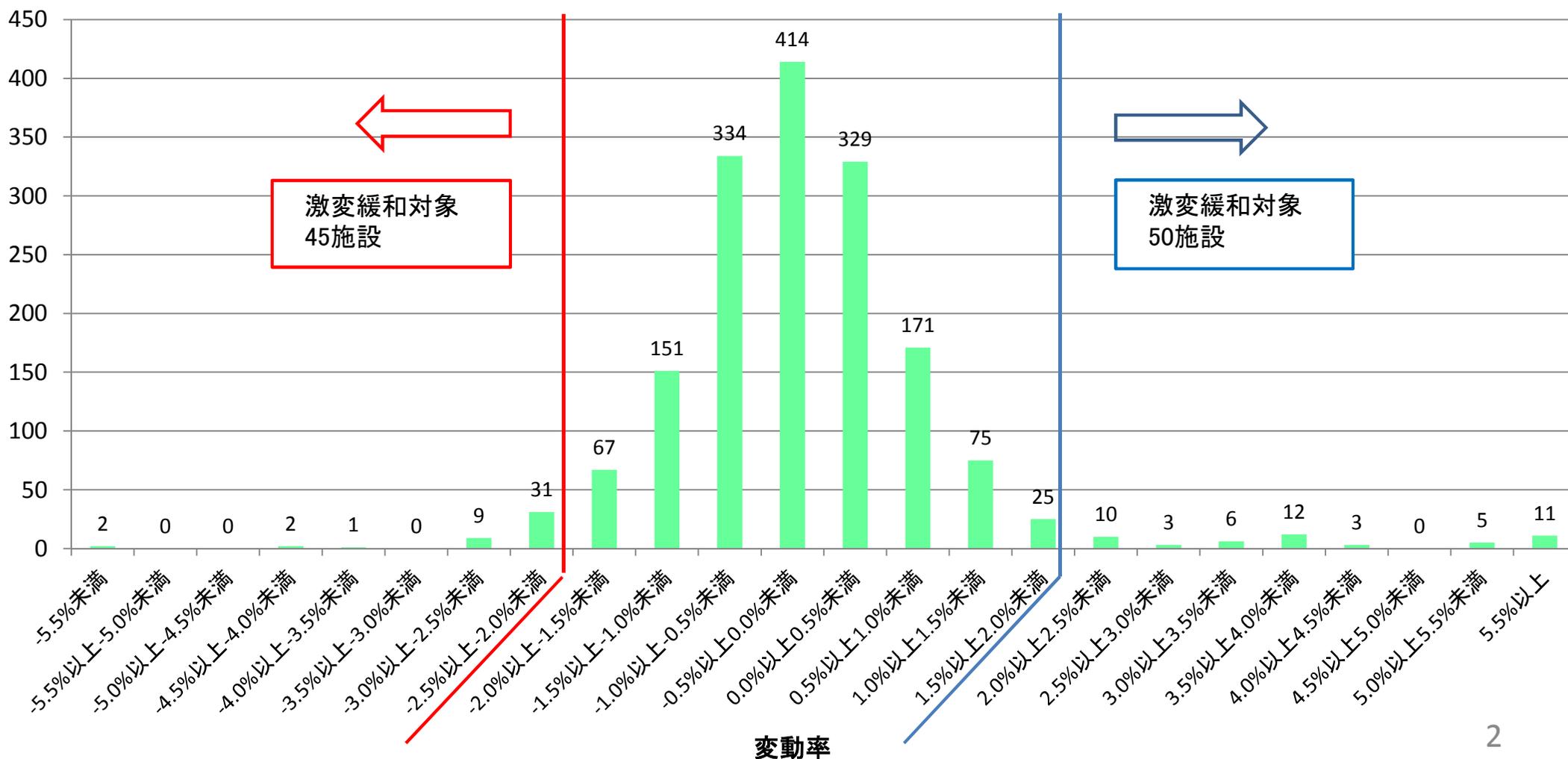
暫定調整係数

調整係数の置き換え以外の要因による、診療報酬改定時に生じる推計診療報酬変動率の分布

診調組 D-3 参考
29.7.19

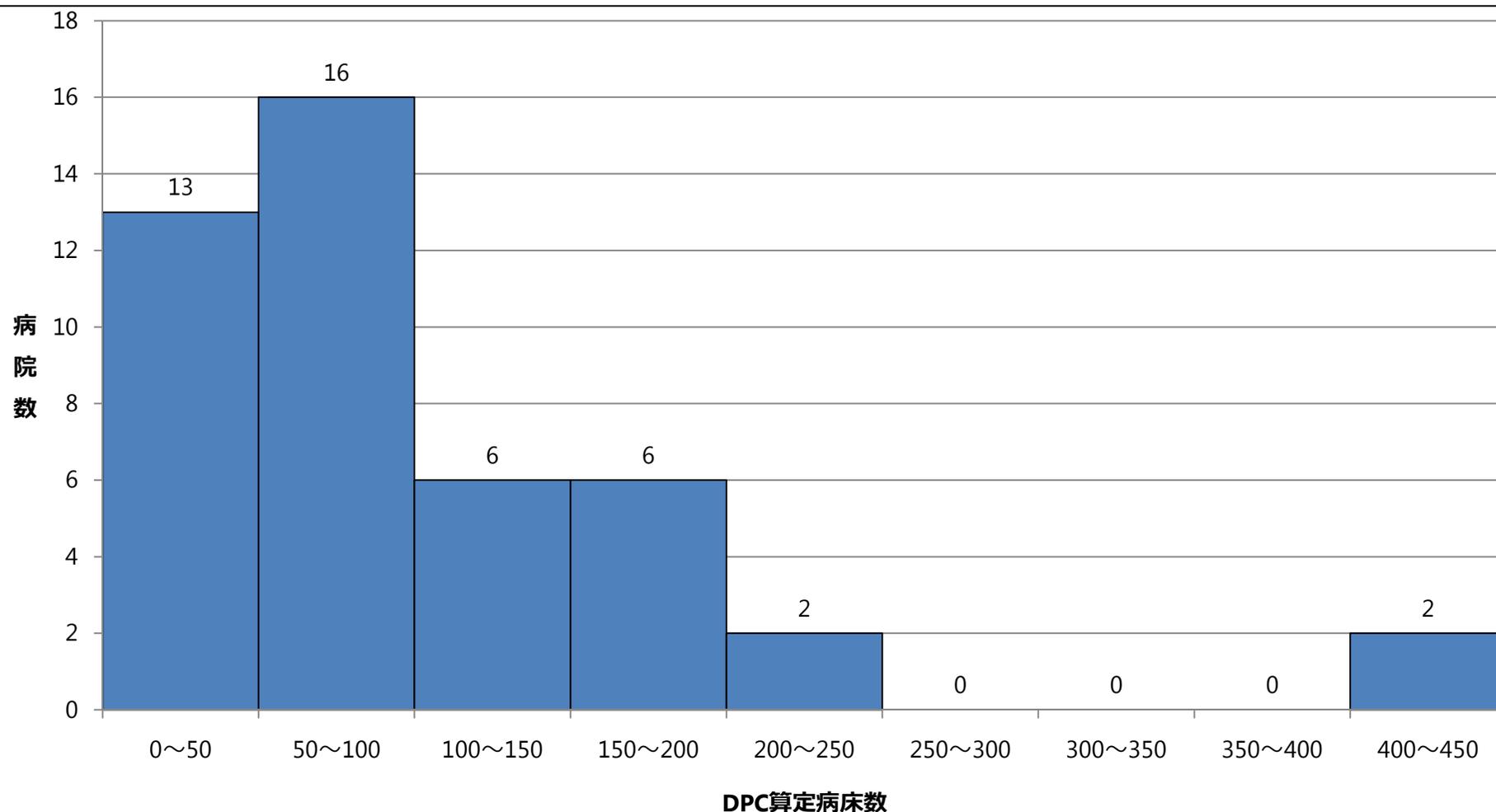
- ・ 暫定調整係数への割当を機能評価係数Ⅱに当てはめた場合について、平成28年度改定における推計診療報酬変動率をシミュレーションした。
- ・ 調整係数置き換え完了後も、一定程度推計診療報酬変動が大きい医療機関が存在することが示唆される。

医療機関数



マイナス緩和の対象となる医療機関の病床数別の分布

- ・ 暫定調整係数への割当を機能評価係数Ⅱに当てはめた場合について、平成28年度改定における推計診療報酬変動率をシミュレーションした。
- ・ マイナス緩和の対象となる45医療機関は、全体としては病床数の少ない病院が多いが、400床以上の医療機関も2存在する。



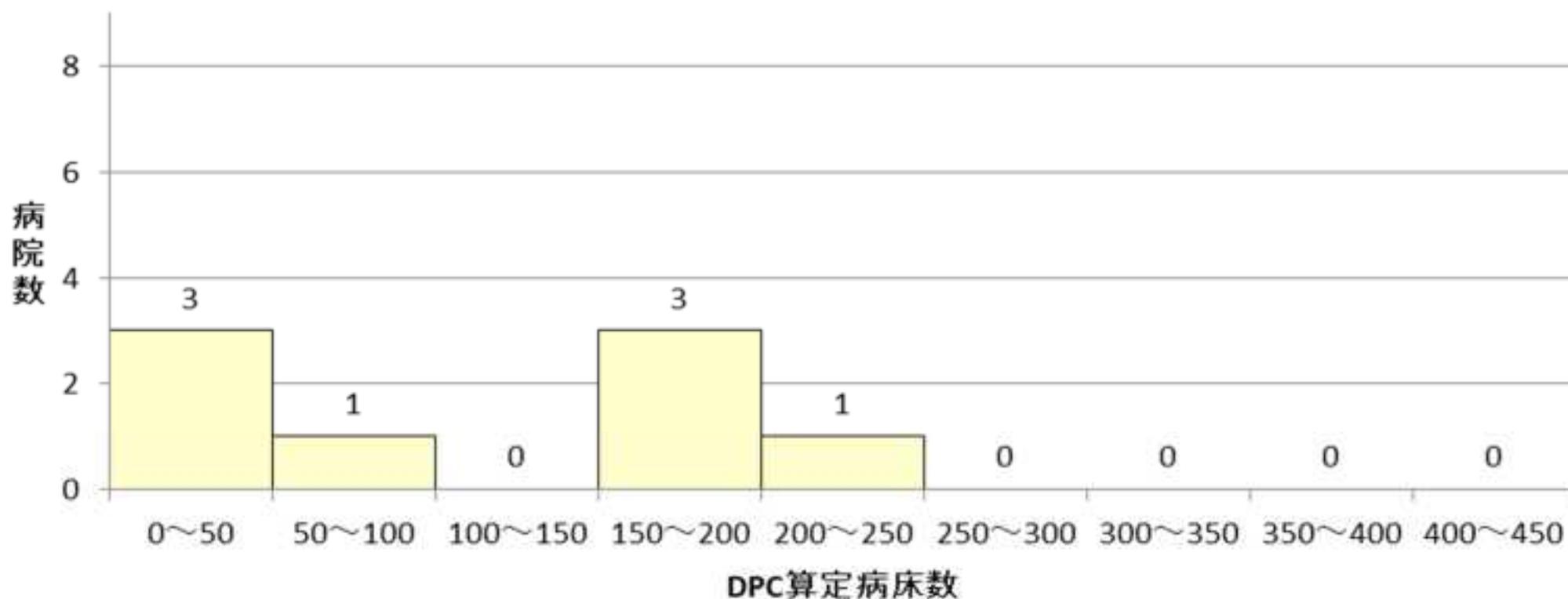
マイナス緩和の対象となる医療機関の病院種別

- ・ 暫定調整係数への割当を機能評価係数Ⅱに当てはめた場合について、平成28年度改定における推計診療報酬変動率をシミュレーションした。
- ・ マイナス緩和の対象となる45医療機関の種別は多様。
- ・ 大部分の病床がDPC算定病床である病院専門病院や半数以上がDPC算定病床ではない病院も含まれる。
- ・ 地域包括ケア病棟や療養病床を有する医療機関も存在。

マイナス緩和の対象となる全医療機関	45
全病床の90%以上の病床がDPC算定病床である医療機関	11
全病床の50%以上の病床がDPC算定病床でない医療機関	12
療養病床を有する医療機関	9
地域包括ケア病棟を有する医療機関	16
専門病院（H27調査で自院を専門病院と回答した医療機関）	22
平成28年度DPC参加病院	8

マイナス緩和の対象となる医療機関のうち、平成28年度にDPC/PDPSに参加した病院

- ・ 暫定調整係数への割当を機能評価係数Ⅱに当てはめた場合について、平成28年度改定における推計診療報酬変動率をシミュレーションした。
- ・ マイナス緩和の対象となる45医療機関のうち、8病院は平成28年に新たにDPC/PDPSに参加した病院である。



平成28年にDPC/PDPSに参加した医療機関の診療密度の変化

- ・平成28年にDPC/PDPSに新たに参加した90医療機関のうち、72病院の診療密度が下がっており、制度参加後には診療密度が下がる傾向にある。
- ・暫定調整係数への割当を機能評価係数Ⅱに当てはめた場合について、平成28年度改定における推計診療報酬変動率をシミュレーションした。マイナス緩和の対象となる病院のうち、平成28年度にDPC/PDPSに参加した8病院について見ると、7病院が制度参加後に診療密度を下げている。

